

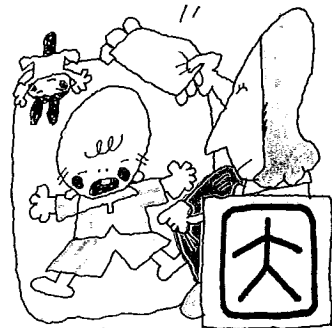
因

イン
よる

〔5年〕

6画
因 因 因 因 因 因

〔なりたち〕 人が大の字形に布団の上に寝ていることを表した字で、大と口(く)にがまゝとの会意字。安心して寝られるのは「頼りにする」所があるからである。「頼る」こと。また、「原因」の意味。



〔いみじゆく〕
▼頼る。依(よ)る。
原因：そうなる理由の大本。原因：原因と結果。また、今の不幸(結果)は原因が前世に在って、仕方がない意味。
因縁：原因と誘因。「縁」は原因と結果を結ぶ力のこと。そうなる直接間接の理由。
素因：①元(始め)からある原因。②その病気にかかりやすい体質。
起因：事の起こる原因。
要因：主要な原因。
遠因：遠い原因。

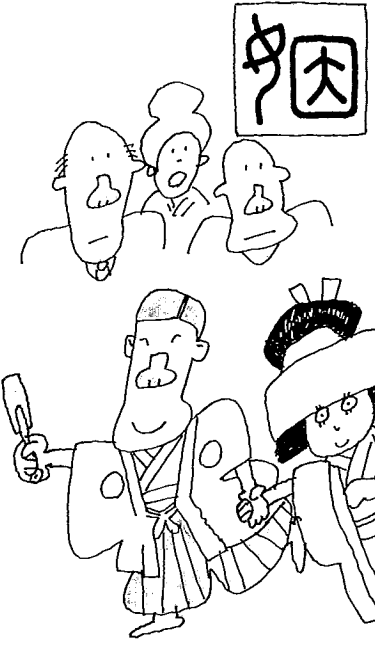


姻

イン

9画
女 姻 姻 姻 姻 姻

〔なりたち〕 身を寄せる意味の因と、女(おんなへん)との会意形声字で、「女性が身を寄せる」ことを表した字。「嫁入り」する。「嫁ぐ」こと。「結婚」をすること。また、結婚によってできた親族のこと。



〔いみじゆく〕
▼嫁入りすること。
婚姻：結婚すること。嫁入りする。昔は夕方(昏(こん))に嫁入りしたので婚(こん)といつた。
姻族：婚姻によって身内となった親族のこと。
姻家：婚姻によって身内となった家。

恩

オン
はねる

〔5年〕

10画
因 因 因 因 恩 恩

〔なりたち〕 頼る意味の因(→オン)と心との会意形声字。「頼りになる心」という意味の字で、「慈しみ恵む心」を表した字である。転じて、「慈しみ恵んでくれた心に感謝する心。報恩の心」の意味。



〔いみじゆく〕
▼恵み慈しむ心。情け。
恩愛：①他人を恵み慈しむこと。情け。②親子や夫婦などの間の愛情。
恩恵：恵み。情け。〔用例〕恩恵を受ける。
恩情：慈しみ情けを掛ける心。〔用例〕恩情ある取り計らい。
恩顧：情けを掛けて引き立てること。〔用例〕日ごろの御恩顧に感謝する。
恩義：恩返ししなければならぬ、義理のある恩。
恩人：恩を掛けてくれた人。
厚恩：厚い恩。〔用例〕厚恩に深謝する。
謝恩：恩に感謝すること。〔用例〕謝恩会。
報恩：恩に報いること。恩返しすること。
〔よみかた〕 恩師・恩赦・恩賞・恩典・大恩

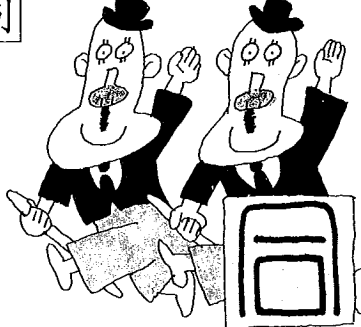
同

ドウ
おなじ

〔2年〕

6画
同 同 同 同 同 同

〔なりたち〕 蓋(た)のある筒の形をかたどった字で、蓋と中身と形が「同じ」で、びつたりと「合う」ことを表した指事字。合と同じ成り立ちの字だが、合は「合う」意味に、同は「同じ」意味に用いられる。



〔いみじゆく〕
▼同じ。
同形：同じ形。形が同じ。
同色：同じ色。色が同じ。
同名：同じ名前。
同額：同じ金額。
同系：同じ系統。
同業：同じ職業。
同種：同じ種類。同類。
同宿：同じ宿に泊まること。
同志：同じ志を持つ人。
同人：同じ趣味を持つ人。
▼同じようにする。一緒に：する。
同感：同じように感ずること。
同調：同じように調子を合わせる。同調：一緒に行くこと。
同道：一緒に行くこと。道を同じくする、という意味。
同封：封筒の中に手紙と一緒に他の物を入れること。
同情：同窓・混同

姻同